



意志ある学び

プロジェクト学習とポートフォリオ
+
コーチング手法

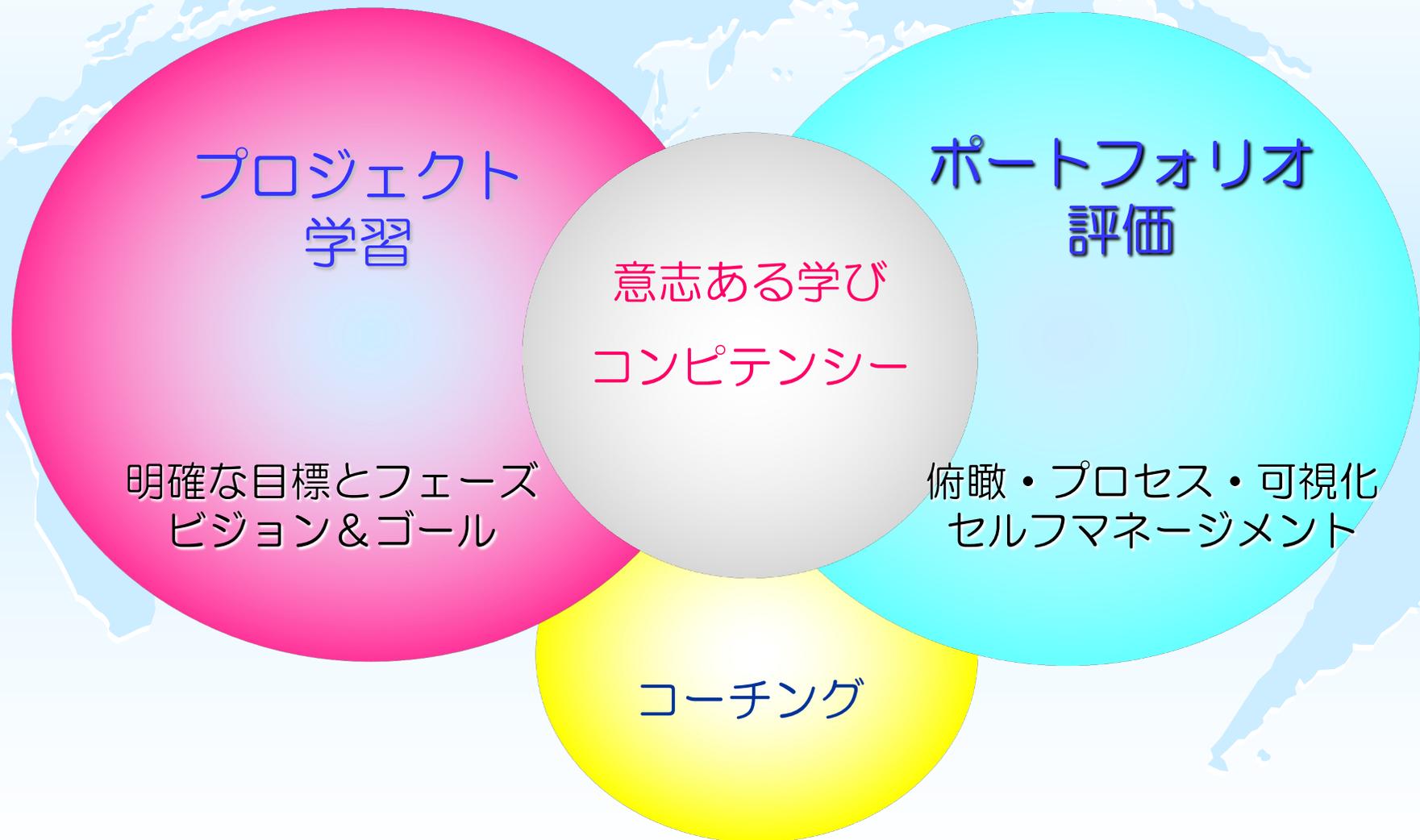
千葉大学教育学部特命教授・シンクタンク

鈴木 敏恵

■ 意志ある学び—教育手法

新しい教育に求められるもの

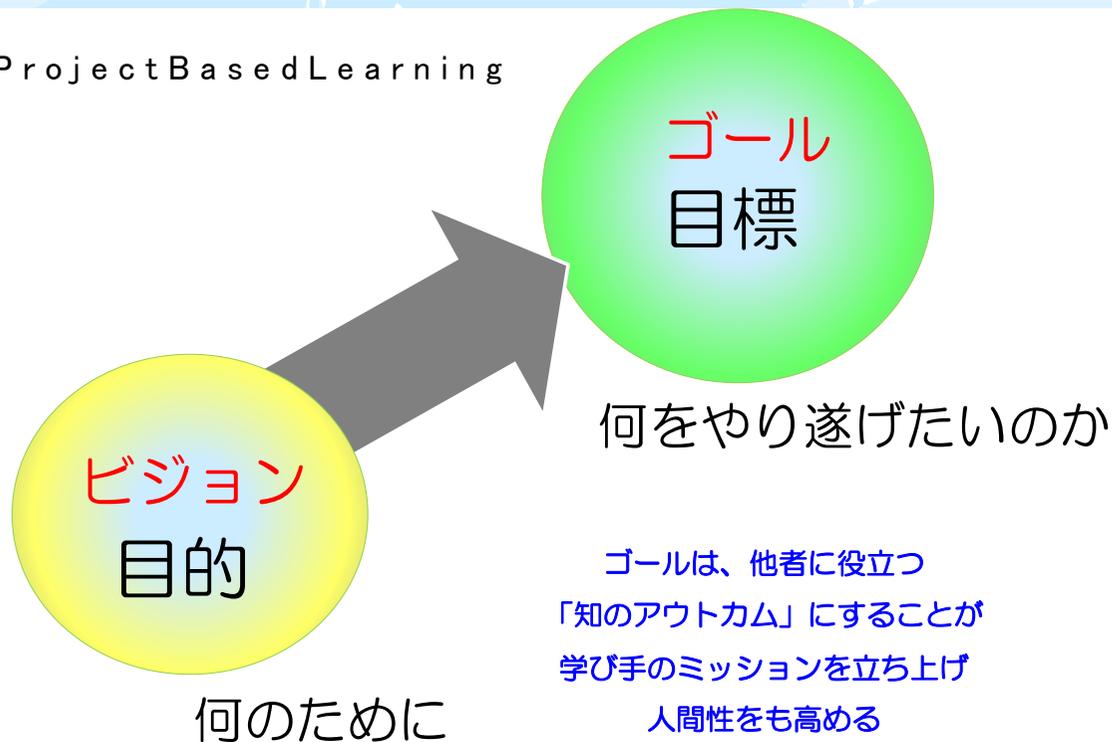
- 感性・コーチング・メタ認知・現実・創造・行動



■ プロジェクト学習とは

プロジェクト学習とは、学習者自身が、目的（何のために）、目標（何をやり遂げたいのか）を明確にして向かう学び。プロジェクトとは何かを生み出すこと、その目標へ向かい獲得した知識やスキルを現実にかけるコンピテンシーが身につく。

ProjectBasedLearning



ゴールは、他者に役立つ
「知のアウトカム」にすることが
学び手のミッションを立ち上げ
人間性をも高める

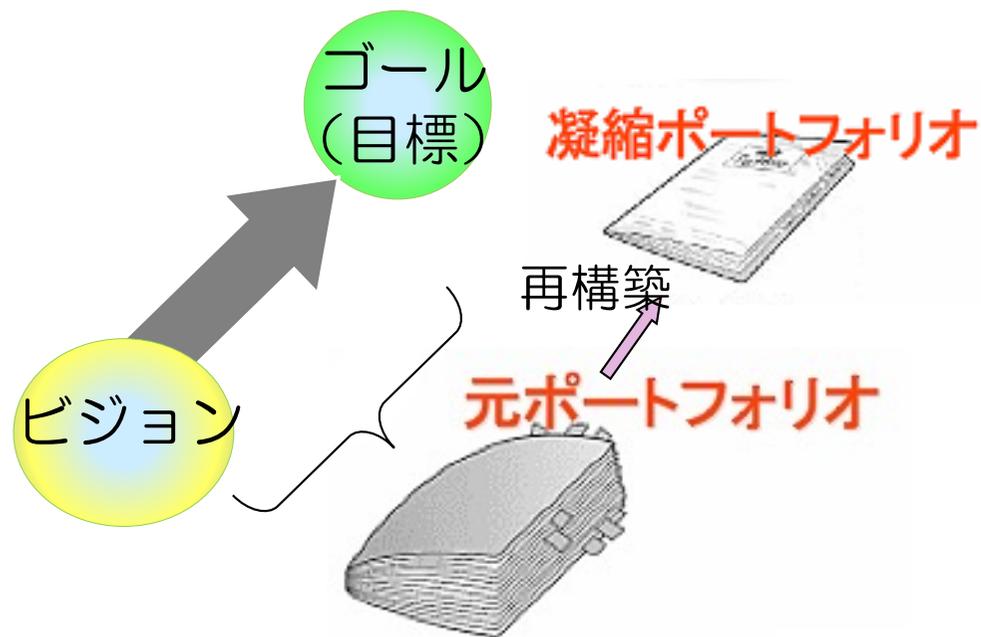
プロジェクト学習で<身につく力>

- ビジョンとゴールを自分で描ける
- 現実から課題発見できる感性
- エビデンスをもとに課題解決能力
- 自分の頭で考える力、伝える力
- 現実への対応力
- ロジカルな思考力

未来教育プロジェクト(c) <http://www.mirai-project.net/>

■ ポートフォリオ（評価）とは

ポートフォリオとは、建築家の作品集、ジャーナリストなどの実績歴ファイル。その人の成果（これまでやってきたこと）や獲得した情報を一元化したもの。それを見れば数値化できない評価が叶う。



目標到達への軌跡を「俯瞰」するツール

<活用・価値・効果>

- ポートフォリオは自己評価ツール
自分を客観的に見る=「メタ認知」
- 多面的評価ツールとしても有効
- 「思考過程」「課題解決プロセス」
が見え確かなフィードバックが可能。
- 個性、資質、可能性が見える
- コンピテンシー評価が果たせる

未来教育プロジェクト(c) <http://www.mirai-project.net/>



コーチングとは何か

ティーチングとコーチングの違い

項目 (態度)	ティーチング (受動的)	コーチング (能動的)
高めたいもの	知識・技術	性能・能力
手法	教える・反復	誘発・対話
答え	正解がある	正解はない
評価者	指導者	自己評価
何を評価するか	結果	プロセス
質問の意図	理解したかの確認	気づきを促すため

コーチングの基本

- 「現状や状況」を問う・・・「今はどうなの？」
- 「願い」を聞く・・・「どうなったらいいの？」
- 「行動」を促す
・・・「そのために具体的に何をしますか？」
- 「焦点」をしぼる・・・「一番大事なことは何？」
- 「目的」確認　　・・・「何のためにするの？」

コーチングのコツ

- まずは、相手が話すようにする
- 「イメージ」を誘いながら問う
- YES、NOで答えられる質問はしない
- 選択で答えられる質問はしない
- あいまいでなく具体的に聞く
- 「一回に一つずつ」問う

未来教育プロジェクト学習 フェーズで身につく力



準備

のコーチング

■ 課題発見力

■ コーチング例：

「いまは、どうなの？」

「もし〇〇〇だったら、どうだろう？」

「問題は何かだろう？」

ビジョンとゴール のコーチング

■ 目標設定力

■ コーチング例：

「じゃあ、どうなったらいいとおもう？」

「願いは、なに？」

「そのために具体的に何をしますか？」

計画のコーチング

■ 戦略力

「このために使える時間は？」

「テーマはなに？」

「そのために獲得すべき情報は？」

「ほかには？」

「一番優先してするのはなに？」

「どんなふうにする？」

「起こりえる最悪の事態は？」

「そうならないためにどうしたらいい？」

情報リサーチ のコーチング

■ 情報（知）を獲得する力

「その目的のためには、どんな情報があるの？」

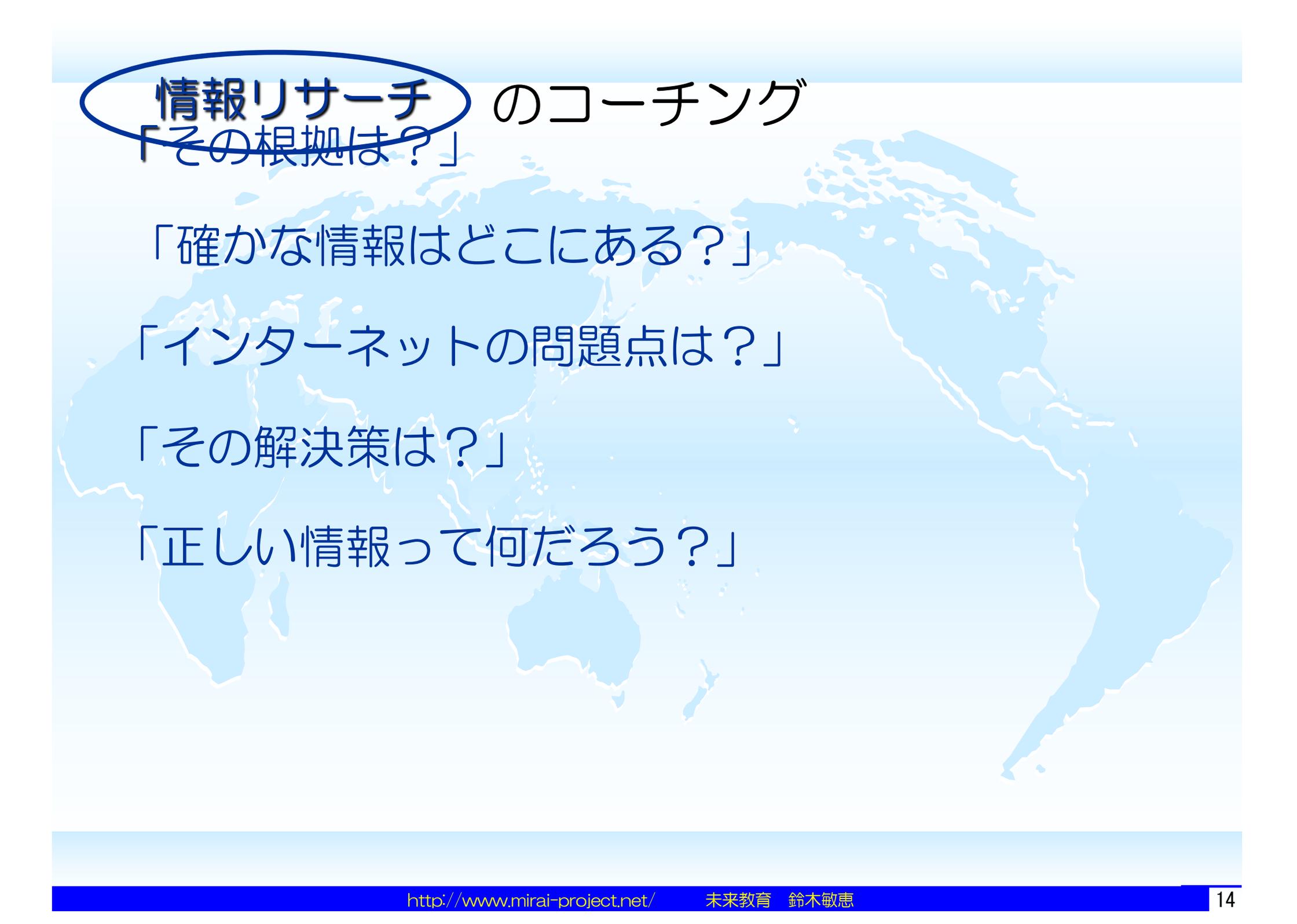
「それはどんな手段で手にいれますか？」

「もっといい方法はない？」 「ほかには？」

「それを確かめる方法は？」

「同じ問題に対して違う見解を探しなさい」

「どこまでやる？」 「それを決める基準は？」

A light blue world map is visible in the background of the slide. The text is overlaid on the map.

情報リサーチ のコーチング

「その根拠は？」

「確かな情報はどこにある？」

「インターネットの問題点は？」

「その解決策は？」

「正しい情報って何だろう？」

情報リサーチ

■ 現実から「知」を得る

キーワード

『俯瞰』 … 離れて全体を大きく見る

『変化変容』 … 動体視力

『表面と深層』 … 洞察力.ひとつ奥をみる

『部分と全体』 … 個だけ見では真実が見えない

『関係性、関係知』 … 影響.太陽と虫の動き

『立ち位置と対象』 … 見え方が違う

『内在するくせ』 … 見ている私.先入観

『手持ちのカード』 … 使えるもの.棚卸し

制作のコーチング

■ ビジュアル表現力

「一番伝えたいことはなに？」

「どうしたらわかりやすくなる？」

「どうしたら見る人にズバリ伝わる？」

「それを見て傷つく人はいませんか？」

プレゼンテーションのコーチング

■ コミュニケーション力

「何のためにプレゼンするの？」

「そのために具体的に何をしますか？」

「うまく行ったことは何？」

「もう一度するとしたらどうしますか？」

再構築

のコーチング

■ ロジカルな表現力

「テーマはなに？」

「一番大事なことはなに？」

「それを読んだ人はどう変わる？」

「それを見て困る人はいませんか？」

■ 自己評価力

「成長って何？」

「これをしたことで何を学びましたか？」

「この経験でどんな力を獲得しましたか？」

「その力を何に使いますか？」

コマンド



ティーチング



コーチング



セルフコーチング

高次の自分

視座

自己評価

デザイン思考

俯

瞰

進化

成長心

自尊感情

与えられた学び



意志ある学びへ！

希求

メタ認知

部分知から全体知へ

知性と感性

考える力

一人思考
思考共有

知識創造

孤高